

## 省エネ評価作成に必要な書類補足説明（断熱材・窓仕様の図面記載項目）

### ■断熱材

#### 記載項目

記載項目	記載例	記載する設計図書の例
①モデル建物法で選択できる種類の断熱材を用いた場合 ・断熱材種類※ 1 ・施工部位・厚さ	【記載例 1】 グラスウール断熱材、外壁 50mm  【記載例 2】 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 A 種 1 外壁・35mm	断熱範囲図 (平面図・立面図)
②熱伝導率等の熱効率が規格等で規定されている断熱材を用いた場合 ・断熱材種類 ・適合する規格※ 2 ・施工部位・施工面積・厚さ	グラスウール断熱材、通常品 (32-36)、(JIS A 9521 区分 GW32-36 に該当) 外壁・50mm	
③①、②以外の場合 ・断熱材種類 ・熱性能 (熱伝導率等) ・熱性能の試験方法※ 3 ・施工部位・施工面積・厚さ	グラスウール断熱材、熱伝導率：0.046W/mK (JIS A 1412 に基づき測定)、 外壁・50mm	

※ 1 大分類のみ記載する場合 (①【記載例 1】) と、小分類まで記載する場合 (①【記載例 2】) がある。

※ 2 熱伝導率等の熱性能が規定されている規格。例えば、「JIS A 9521」が該当。

※ 3 熱伝導率等の熱性能に係る試験方法。例えば、「JIS A 1412」に基づく断熱材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法が該当。

## ■窓

### 記載項目

記載項目	記載例	記載する設計図書 の例	
①モデル建物法において選択できる窓ガラスの種類が記載されている場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>○建具の記号、サッシの種類、寸法</li> <li>○窓ガラスの種類（ガラス建築確認記号※1）</li> <li>○施工部位</li> <li>○ブラインドの有無</li> <li>○庇の設置状況</li> </ul>	【記載例1】 AW-1、アルミ製サッシ、3.0W×2.5H、二層複層ガラス 2LsA12、明色ブラインド  【記載例2】 AW-1、アルミ製サッシ、3.0W×2.5H、二層複層ガラス 2LsA12（Low-E6+A12+FL6、乾燥空気、日射遮蔽型）、明色ブラインド、庇（詳細図参照）	建具表 (仕様書) 各階平面図	
②窓ガラスの種類と熱貫流率・日射取得率等が記載されている場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>○建具の記号、サッシの種類、寸法</li> <li>○ガラスの熱貫流率・日射熱取得率、当該熱性能の試験方法※2</li> <li>○施工部位</li> <li>○ブラインドの有無</li> <li>○庇の設置状況</li> </ul>	【記載例】 AW-1、アルミ製サッシ、3.0W×2.5H、Low-Eガラス（Low-E6+A12+FL6、熱貫流率 2.5W/m <sup>2</sup> K・日射熱取得率 0.30、JIS R 3106 により測定）、明色ブラインド、庇（詳細図参照）		
③窓全体の熱性能が記載されている場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>○建具の記号、寸法</li> <li>○窓の熱貫流率、日射熱取得率、当該熱性能の試験方法※2</li> <li>○施工部位</li> <li>○ブラインドの有無</li> <li>○庇の設置状況</li> </ul>	【記載例】 AW-1、3.0W×2.5H、窓の熱貫流率 2.5W/m <sup>2</sup> K・日射熱取得率 0.30、JIS A 4710 及び JIS A 1493 により測定）、明色ブラインド、庇（詳細図参照）		

※1 モデル建物法において選択できる窓ガラスの種類に係る記号。

※2 熱貫流率、日射熱取得率等の熱性能に係る試験方法。